

2024年4月5日

各位

東京都千代田区麹町三丁目2番4号
会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代表者名 代表取締役社長 岡田 淳
(コード番号: 7777)
問合せ先 取締役 新井 友行
電話番号 03 (3511)3440

止血材「ピュアスタット」の胃外科領域への適応拡大に向けた 医師主導特定臨床研究開始のお知らせ

株式会社スリー・ディー・マトリックス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田淳、以下「当社」）は、自己組織化ペプチド技術を用いた吸収性局所止血材「ピュアスタット」について、静岡県立静岡がんセンターにて特定臨床研究が開始されましたので、お知らせします。

研究の名称：鏡視下胃切除術における術中出血に対する PuraStat の探索的研究

胃外科領域は主に胃にできた悪性腫瘍（がん）を外科的に切除する領域です。一般的に胃の内側の粘膜内のがんが限定的に存在する早期胃がんについては、消化器内視鏡的治療として消化器内科にて治療が行われますが、それよりも進行したがんの場合には、胃の一部と一緒にあるいは胃の全部を外科的に切除します。その際、胃周囲のリンパ節を経由した他臓器へのがん転移を防ぐため、リンパ節も一緒に切除します。

近年、胃外科領域では開腹術よりも低侵襲な腹腔鏡下での手術が増えておりますが、腸管切離時や血管処理時、リンパ節郭清時に通常の止血処置の実施が困難なケースがあります。

ピュアスタットは日本では消化器内視鏡治療における止血鉗子による焼灼回数の低減を目的として使用されておりますが、胃外科領域においても、液状型止血材であり腹腔鏡下でも経カテーテル的に容易に適用ができる、また透明であり止血部位を視認できる等の高い臨床ニーズがあると考えられ、本特定臨床研究ではピュアスタットの胃外科領域の手術における止血材としての有用性と安全性を検証します。

既に欧州では胃を小さくする減量手術であるスリーブ状胃切除術にて臨床使用されておりますが、本特定臨床研究より得られるデータは日本における止血材の胃外科領域への適応拡大に向けたデータとして活用が期待されます。

なお、本件による通期の業績および中期経営計画への影響はございません。

以上